

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成19年1月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.49



完熟きんかんの収穫が始まりました

完熟きんかんの収穫をする高千穂町大字上野の佐藤貞久さんご夫妻



日之影町のJA高千穂地区宮水集出荷場に出荷された完熟きんかん「たまたま」。西臼杵地域では1月24日から「完熟きんかん」の出荷が始まりました。本格的な出荷は2月からですが、3月末まで合計約70トンの出荷が見込まれています。



糖度や大きさが基準を満たしているかどうか検査します。

JA高千穂地区は、県の商品ブランド「完熟きんかん」の産地認定を受けています。西臼杵の生産農家は22戸で、約3.6haを栽培しています。完熟きんかんは、糖度が16度以上、大きさがL(直径28mm)以上で、この中でも糖度が18度以上、大きさがLL(直径33mm)以上のものを「たまたま」と名付けています。「たまたま」の完熟きんかん全体に対する割合は、5%程度です。

# 中山間地域等直接支払制度集落協定代表者研修会

中山間地域等における耕作放棄の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的とした「中山間地域等直接支払制度」が平成17年度に見直しされ、今年度で2年目に入りました。

この交付金を有効に活用して、将来にわたって継続的に農業生産活動を行っていける体制の整備や、集落の活性化を図ることが重要となります。

今回、他の地域の特徴ある取り組みを参考に、集落の新たな一歩につなげるために、JAや西臼杵3町、農業改良普及センター等の関係機関が一体となって集落協定代表者への研修会を、高千穂町自然休養村管理センターで1月30日に開催しました。



西臼杵管内の中山間地域等直接支払制度集落協定代表者等約300名が参加



「安心院町松本集落イモリ谷のむらづくり～集落グリーンツーリズムを目指して～」

大分県宇佐市安心院町松本集落  
荷宮英二氏

平成16年度農林水産祭むらづくり部門で「天皇杯」を受賞しており、グリーンツーリズムを活用したむらづくりを進めている。村をどうしていきたいかについて、みんなが話し合いを何度も重ね、子ども達が村から出て行ってまた帰ってきたいと思えるようなむらづくりを行っている。

椎茸の駒打ち体験、炭焼き体験、レンゲ祭、しめ縄・クリスマスリース作りなどのイベントや農業体験を実施し、関西地方や福岡県からの修学旅行も受け入れている。大分市にはアンテナショップもある。



「中山間地域等直接支払交付金を活用した堤田集落の活性化について」

島根県津和野町堤田集落

林 孝雄氏

堤田集落は、島根県の西部・高津川沿いの台地にある水田農業地帯。

集落を守るのは住んでいる自分たちであるという意識で活動を行っており、中山間地域等直接支払交付金は、個人配分をせずに、全て集落全体のために使っている。

平成14年11月に交付金を活用し、営農事業の中核を担う法人「農事組合法人つつみだファーム」を設立。(出資金290万円、農業経営、農作業の受委託約10ヘクタール)

また、同法人は、農産物加工施設「はたのパン屋さん」を平成16年3月に開設。



「本県における中山間地域等直接支払交付金制度の取り組み状況について」

県地域農業推進課

城ヶ崎浩一氏

「直払い制度を契機に、集落の活性化を目指そう」をテーマに、県内や西臼杵管内の優良事例を紹介しながら、積極的な取り組みを訴えた。

集落営農組織の設立、機械利用組合や受委託組織の設立、利用権等による農地流動化の促進、地場特産品を利用した加工・販売、高付加価値の農産物の生産、都市住民との交流・アグリビジネス等、集落にあったアイデアややり方を集落で話し合い、現在の取り組みよりも1歩前進してほしい。

## 西臼杵管内の中山間地域等直接支払交付金を利用した事例



### 高千穂町：五ヶ所集落協定

絶滅危惧種に指定されているヒメユリの保護活動や老人クラブ30名が小学生を対象に野菜栽培の指導を行うとともに、収穫した野菜を使った給食で交流会を行うなど、地域文化の中心となる五ヶ所小学校と連携して、1年を通して様々な活動を行っています。



### 高千穂町：下押方集落協定

下押方集落協定は、農家の割合が2割程度で、農家の中でも第2種兼業農家がほとんどであることから、農業生産には、非農家の理解が必要です。そこで、道路の草刈り等だけでなく、農業生産活動そのものである水稲の防除も非農家に呼びかけて、非農家とともに集落全体で行うこととしています。



### 日之影町：深角集落協定

高齢農業者や女性や病気で作業が困難な農家に限定して、集落の認定農業者等で組織される生産組織が「畦塗り」の作業を受託しています。作業が困難な農家を集落全体で支えることにより、離農を 방지、耕作放棄地の発生を抑えています。

### 高千穂町：中川登集落協定

輸入農産物の増加や、食生活の多様化等により農産物の価格は下落しています。このような状況に対応するため、中川登集落は、水稲にかかる機械については集落で保有し、個人の農業機械を削減して費用負担を軽減することを目標として取り組みを行っています。

### 五ヶ瀬町：日蔭集落協定

有害鳥獣については、ほぼ全ての集落で対応に苦慮していますが、日蔭集落では、集落を電気牧柵で囲むなど集落全体で行うことでより大きな効果が得られるように対策を行っています。

## 全国愛鳥作品コンクールで宮崎裕子さんが入選

平成19年度の愛鳥週間用ポスター原画コンクール中学生の部において、五ヶ瀬町立三ヶ所中学校の宮崎裕子さんが県内でただ一人入選しました。

同コンクールは、野鳥の保護推進と愛鳥思想の普及啓発を図ることを目的に愛鳥週間行事の一環として毎年実施されており、中学生の部においては、全国から22,610点の応募がありました。

宮崎さんは「コシジロヤマドリは県鳥であるが、あまり生息していないということなので、大事にしてほしいという願いを込めて描きました。今後も、いっぱい絵を描いて、たくさんの人に自分の作品を見てもらいたい。」と話していました。

なお、宮崎さんが作成した原画は、今年の5月3日から5月20日の間、東京の新宿御苑インフォメーションセンターで展示される予定です。



1月11日に西臼杵支庁鳥原次長が、三ヶ所中学校で賞状を伝達しました。



全国コンクールで入選した宮崎さんのポスター原画

## 「フレッシュミズの主張全国コンクール」で 興相恵子さんが優秀賞受賞

高千穂町上野の興相恵子さんは、『2006年度フレッシュミズの主張全国コンクール』（JA全国女性組織協議会主催）で優秀賞を受賞し、1月18～19日に東京のJAホールで開催された「第52回JA全国女性大会」において、表彰状等の授賞式が行われました。

興相さんは、「我が家の夢のライフプラン」と題し、フレッシュミズ世代でライフプランを考えることは重要だと考えており、将来、子ども達と一緒に農業をやりたいというライフプランを発表しました。



優秀賞の表彰を受ける興相恵子さん（一番右）

## 違反広告物等県下一斉除却

県では、屋外広告物に対する認識を深め、住みよいきれいなまちづくりを推進するため、違反広告物等是正指導強化週間（1月25日～31日）に合わせて、1月25日に、管内の違反広告物の一斉除却を行いました。

九州電力、西臼杵3町の職員等、9名が参加しました。



違反広告物等県下一斉除却出発式（1月25日）

## 県用地対策連絡会県北地区研修会を開催

公共用地の取得と公共事業の円滑な推進に寄与することを目的に、県用地対策連絡会（県、市町村で組織）の県北地区の研修会を開催しました。

研修会は、延岡税務署の古澤信弘氏による「公共事業の補償金の取扱い」及び延岡法務局の山口重臣氏による「用地買収に伴う測量、登記について」の講義が行われました。



県用地対策連絡会県北地区研修会（12月12日）

## 地域再生マネージャー事業

高千穂町では、総務省の「地域再生マネージャー事業」に昨年度から取り組んでいます。

地域再生マネージャーとして、全日空から柳田剛一さんが町企画情報課に常駐し、物流・物販、観光・交流面で様々な取り組みが行われています。

物流・物販面では、昨年3月の東京全日空ホテルでの「高千穂牛フェア」に続き、昨年10月1日から11月30日まで、成田全日空ホテルにおいて、「九州・高千穂フェア」が開催されました。

観光・交流面では、旅行者のための新規サービス企画の構築や交流体験に繋がる事業に取り組んでいます。

なお、2月には全日空の全機内において「ANA焼酎倶楽部～宮崎ソバ焼酎編～」が放映されます。



成田全日空ホテルでの「九州・高千穂フェア」



(上)高千穂名産一口ずらのサラダ仕立て  
(下)高千穂産黒毛和牛すね肉の柔らか煮

## 調理体験教室

1月16日

県畜産協会の地域畜産ふれあい体験交流推進事業を活用し、「調理体験教室」が若手女性農業者等を対象に農業改良普及センターで開催されました。同事業は、安全で安心な県内畜産物の消費拡大と県内自給率向上を図るため、県内畜産物を使った加工調理体験教室を開催し、畜産物生産に対する理解啓発を図ることを目的としています。



牛の黒ビール煮、ひき肉とジャガイモで作るパイ、ローストビーフ、コールスローなどを作りました。

講師は吉村ヴィクトリアさん(高千穂町正念寺副住職)。英国の家庭料理を伝授

## 「新春初市」開催

1月6日

高千穂町三田井にある「高千穂林産物流通センター」の新春初市が、郡内をはじめ熊本や大分、福岡など県内外の製材業者約25社が参加して行われ、西臼杵郡内で生産されたスギやヒノキ、マツ、モミ、ケヤキなど約2,300m<sup>3</sup>が取引されました。

初市では、スギの柱角(末口16~22cm)の中値は13,100円/m<sup>3</sup>で前年の同市と同程度でしたが、スギの平均単価は11,600円/m<sup>3</sup>となり、前年の同市より1,800円/m<sup>3</sup>高く売買されました。

最近、輸入原木の高騰や入手難から、これまで輸入材を製材していた工場が国産材にシフトする事例が増えています。さらに、合板や集成材用の国産材需要も増加しており、スギ原木に対する評価が好転する兆しが見えてきました。



雨が降る中行われた「新春初市」

## 五ヶ瀬町観光協会地域づくり講演会

1月29日

五ヶ瀬町観光協会は、阿蘇地域振興デザインセンターの坂元英俊事務局長を講師に招き、「地域づくりが人を呼ぶ」と題して講演会を実施しました。

坂元事務局長は、「これからの観光は、地域づくりが必要である。また、地域活性化とは、住んでいる地域を好きになること。自分の地域を好きになるうとして見ないといけない。そして、3つぐらい好きなどころを言えないといけない。さらに、人間性の向上も重要である。」という話をされました。



町内外から約50名が参加した地域づくり講演会

## 編集後記

今年に入ってから、高病原性鳥インフルエンザが、県内3ヶ所で相次いで発生し、西臼杵支庁からも鶏殺処分、除糞処分、消毒処分などのまん延防止のための防疫作業に職員が交替で行っています。私も、先日従事しましたが、ほとんどの県職員が動員されており、県庁及び関係者が一丸となって鳥インフルエンザに立ち向かっています。この経験は、あらゆる分野において、東国原知事を先頭に、県庁、県民が一体となって、県民総力戦で取り組むきっかけになるのではないかと感じました。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 平成19年産 葉たばこの種まき

1月27日

高千穂葉たばこ生産組合の種まきが、組合の代表、西臼杵支庁、高千穂町、日之影町の職員等45人が参加して行われました。

西臼杵郡内の今年の作付け面積は、109haを計画しており、5億5千万円の売り上げを目指します。



豊作を祈りながら行われた高千穂葉たばこ生産組合の種まき(高千穂町浅ヶ部の共同育苗施設)

## 西臼杵支庁だより

### 職員家族美術展開催

1月16日~26日



書道、陶芸、手芸など20点の出品がありました。